

まん延防止等重点措置解除後の県立学校の部活動等について

政府の決定により、宮城県における、まん延防止等重点措置を実施すべき地域としての指定は解除されたが、今後も引き続き、変異株の広がりにも注意しつつ、リバウンド防止に取り組む必要がある。

このことから、県立学校の部活動については、「部活動での指導ガイドライン（平成30年3月発行宮城県教育委員会）」を踏まえた各校のガイドラインの内容を遵守するとともに、専門家の助言等（※）を踏まえた感染予防対策を徹底した上での活動とする。

また、県高校総合体育大会や県高校総合文化祭に向けた練習試合等については、大会におけるけがの防止などの観点から、その必要性を十分に検討した上で、県内の学校間において必要最小限の範囲で可能とする。

その場合においては、専門家が指摘している

- ①健康チェックをより徹底すること
- ②参加校や参加生徒の地域の感染状況を確認して対応すること
- ③濃厚接触者の判明等、感染拡大の恐れがあることが明確になった場合は即時に中止すること

に、特に留意し、生徒たちがこれまで培ってきた日頃の成果を充分発揮する大きな場である高総体、高総文祭が万全の状態で行えるよう高い意識を持って対応する。

なお、県内の感染状況によっては方針を変更する場合がある。

※ 部活動場面の感染予防対策 ～専門家からの主な助言～

- 体調不良時は活動に参加しない等、休むことのできる環境づくり
 - ・体調不良や症状がある生徒や教職員は参加しない・参加させない。
 - ・自己申告に加えた生徒同士や教職員による健康観察
- 体調不良者の発生を迅速に情報共有する体制づくり
 - ・客観的な身体症状等の健康チェックや体温計測等の確認
 - ・活動開始前には、健康状態に問題がないことを相互で確認する。
- トレーニング室における感染予防の再徹底
 - ・換気の徹底 ・対人距離の確保 ・使用後は共用部分を消毒する。
 - ・できる限りマスクを着用し、会話を控える。
- 活動の前後の予防対策の徹底
 - ・着替え時や部活動の開始前と終了後も継続してマスクを着用する。
 - ・マスクの着用ができないときは距離を取り、会話を控える。
- 他校と練習試合を行う場合の留意点
 - ・参加校や参加生徒が含まれる地域及び近隣地域の流行状況を確認する。
 - ・感染リスクに注意するなど、危機管理体制を確立する。
 - ・感染拡大の恐れがある場合においては、活動を自粛する。